

おくすりQ&A

処方せんがなくても購入できるお薬について教えてください

これまで医薬品には、**使用するために医師の処方せんが必要な「医療用医薬品」と、処方せんがなくても薬局や薬店で購入することができる「一般用医薬品」**の2つに大きく分類されていました。しかし2013年に改正された「**医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律**」の施行により、**処方せんがなくても購入できる医薬品として「要指導医薬品」が新設されました。**

今回は要指導医薬品とは何かを中心に、処方せんがなくても購入出来るお薬についてお話しします。

Q. 要指導医薬品とは何ですか？

A. セルフメディケーション（自分自身の健康に責任を持ち、軽度な体の不調は自分で手当てすること）に利用できる医薬品として、**製造販売の承認を受けてから一定期間を経過していない医薬品・毒薬・劇薬**が該当します。

Q. 要指導医薬品を販売するのは誰ですか？

A. 薬剤師です。現在、一般用医薬品は、薬剤師または登録販売者が販売しますが、**要指導医薬品は薬剤師が対応する**ように決められています。したがって店頭で薬剤師が不在の場合は購入することができません。また要指導医薬品は、**薬剤師が対面で、かつ書面を用いて情報提供するように義務付けられている**ため、インターネットなどを用いた通信販売でも購入することができません。

Q. 要指導医薬品は誰でも購入できますか？

A. 要指導医薬品は、**購入する人が使用者本人であることを確認して販売**します。そのため購入者とは別の人が医薬品を使う場合には販売できません。また販売者（薬剤師）は、使用者が誰かということ以外にも年齢や症状、既往歴、他に使用している薬の有無、女性の場合は妊娠や授乳の有無なども確認する必要があります。

*なお、お薬の買い方については前号で詳しく解説していますので、ご参照ください。

Q. 購入した後で相談したいことが出てきた場合は、どこに相談したらよいですか？

A. 医薬品の販売を行う者は、医薬品の分類にかかわらず相談を受け付けることが義務付けられています。医薬品の購入後でも構いませんので、まずは**購入した薬局・薬店にお気軽にご相談ください。**

セルフメディケーションには薬局・薬店で購入できる医薬品が役立ちます。上手に利用しましょう！

執筆薬剤師 根本 由香里

わたらの健康とくすり

第242号



撮影／田中 晴美

今月の内容

- ・喘息についてお話しします！～その8～吸入薬②
- ・黄砂に気をつけましょう
- ・処方せんがなくても購入できるお薬について教えてください

2016年3月発行

発行者 八王子薬剤センター 茂木 徹
東京都八王子市館町 1097 電話 042-666-0931

協力 八王子薬剤師会

喘息についてお話しします！

～その8～

吸入薬②

前回に引き続き、喘息の主な治療薬である吸入薬について説明します。今回は**定量式吸入器を用いる場合**についてです。

●定量式吸入器

加圧式定量噴霧式吸入器 (pMDI) と **定量ドライバウター吸入器 (DPI)** の2方式があり、現在吸入療法の中心になっています。薬剤には吸入ステロイド薬や β_2 刺激薬、抗コリン薬、インターール[®]があります。

吸入薬の噴霧と吸入のタイミングが合わないと、ほとんどの薬剤が口腔内に沈着し、消化管から薬剤が吸収されるため副作用が生じやすくなります。定量式吸入器を使用する場合は、**医療機関や薬局で吸入指導を受けるようにしましょう**。またpMDIを使用する場合でも、**吸入補助器具 (スパーサー)** を使うとより吸入しやすくなります。

●pMDIとDPIの吸入操作のポイント

加圧式定量噴霧式吸入器 (pMDI)

1. 吸入器のキャップをはずす。
2. 容器をよく振る。(溶液タイプの場合振る必要はありません。詳しくは薬剤師にお聞きください。)
3. 口を開け、顎を少し上に向ける。
4. 容器を真っ直ぐに立てて、唇から3～4cm程度離す。
5. 息を少し吐いてから噴霧し、空気と一緒にゆっくりと深く吸い込む。
6. 深く吸い込んだ状態で、4秒間以上息を止める。
7. ゆっくりと息を吐く。
8. 次の吸入をする場合は1分間以上間隔をあける。
9. うがいをする。

定量ドライバウター吸入器 (DPI)

1. 薬を装着する。(製品によって装着方法が異なるので、薬剤師にご確認ください。)
2. 息を少し吐いてから吸入口をくわえる。
3. 吸入口からできるだけ速く、大きく息を吸い込む。
4. ゆっくりと息を吐く。
5. うがいをする。

次回は、運動や妊娠といったさまざまな事柄と喘息の関係を説明します。

東京医科大学八王子医療センター 呼吸器内科 一和多 俊男

ちょっとお耳を……

黄砂に気をつけましょう

●黄砂とは

中国大陸の内陸にある砂漠から舞い上がった砂のことを「黄砂」と言います。黄砂は偏西風に乗って、年間を通して日本に飛来していますが、**2000年以降、特に観測される日数が増加**しています。地球温暖化による砂漠の拡大や降水量の減少などが観測日数の増加に関係していると考えられており、**環境問題の一つ**になっています。

●黄砂の成分

黄砂はケイ素、アルミニウム、鉄などの鉱物粒子を含んでいます。また日本に到達する途中で、硫酸塩や硝酸塩といった**大気汚染物質などさまざまな物質を吸着**します。カビや細菌が付着していることもあります。

●黄砂の飛来する時期は？

日本における黄砂は3月から5月にかけて観測されることが多く、**4月にピークを迎えます**。黄砂が飛来する時期は、春先にまだ植物が育っていないことや積雪・凍結がなく地表が乾燥していることなど、中国大陸の地表の状態が影響していると考えられています。

●黄砂が身体に与える影響は？

黄砂が皮膚に付着したり、吸い込んだりすると、**アレルギー症状や呼吸器症状が生**じることがあります。そのため**黄砂の健康への悪影響が問題視されています**。具体的には、咳や鼻水などの呼吸器症状、皮膚炎などの皮膚症状、目の充血やかゆみなどの眼科症状が現れることがあります。また、**もともと持っているアレルギー疾患を悪化させ、花粉症や喘息などの症状がひどくなる**こともあります。とくにスギ花粉が発生する時期は黄砂が飛来する時期と重なるので、スギ花粉症の方は注意してください。

●黄砂の対策について

黄砂を体内に取り込まないようにすることが大切です。黄砂の多い時期は**マスク・眼鏡を着用**し、外出先から帰宅したら、**うがい・手洗い・洗顔を行う**ことを心掛けてください。また、屋内では**空気清浄機を使って黄砂を除去**することが効果的です。**慢性の病気がある方や乳幼児は、黄砂が多く飛んでいる日の外出をなるべく控え**ましょう。黄砂の飛来状況は環境省や気象庁のウェブサイトで確認することができます。



執筆薬剤師 太田 雅俊